

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に規定する定額法を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	309,213,840	0	0	309,213,840
建物	593,188,693	0	12,466,312	580,722,381
建物附属設備	101,648,263	0	8,013,132	93,635,131
構築物	15,281,871	0	1,213,605	14,068,266
小 計	1,019,332,667	0	21,693,049	997,639,618
特定資産				
投資有価証券	20,000,000	10,000,000	0	30,000,000
定期預金	0	0	0	0
預敷金引当資産	0	0	0	0
預保証金引当資産	3,200,000	0	0	3,200,000
小 計	23,200,000	10,000,000	0	33,200,000
合 計	1,042,532,667	10,000,000	21,693,049	1,030,839,618

(注) 建物及び建物附属設備の当期減少額は、税務指導のためと減価償却費と残存金額である。

(注)

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	623,315,613	42,593,232	580,722,381
建物附属設備	120,960,634	27,325,503	93,635,131
構築物	18,113,531	4,045,265	14,068,266
什器備品	11,955,350	4,784,047	7,171,303
リース資産	3,640,080	2,248,356	1,391,724
ソフトウェア	0	0	0
合 計	777,985,208	80,996,403	696,988,805

4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	71,743,701	84,577,762
その他資産	10,000	10,000
前払費用	23,732	0
未収入金	16,271,210	69,400
仮払金	0	0
合 計	88,048,643	84,657,162
未払金	273,394	267,805
未払金消費税	0	1,518,200
リース未払金	1,353,804	1,400,400
預り金	225,605	224,365
前受金	1,254,000	1,254,000
	0	0
合 計	3,106,803	4,664,770
差引： 次期繰越収支差額	84,941,840	79,992,392